

# ファーストペイン通信

第34号  
発行日  
令和4年12月22日（木）  
発行人  
八王子実践中学校  
中学部長 石川敦史



令和4年12月13日（火）1年から3年までの生徒8名が八王子城跡を訪れました。早朝には激しく降っていた雨も私たちが到着した頃には止んでいました。

ガイダンス施設に着くと、3名のボランティアガイドの方々が迎えてくれました。お一人は兜をかぶっていらっしゃいました。早速、中に通され、八王子城が築城された経緯、豊臣秀吉によって攻められ落城したところまでの解説動画を見せていただきました。

3つのグループに分かれて、いよいよ探求開始です。野外模型のところで、八王子城の全貌を説明してもらいました。本日は御主殿跡までの学習です。

## 大手門跡から古道

昭和63年の調査で門の礎石や敷石が見つかりました。その配置から鎌倉建築の「薬医門」の形状だと推測されます。土壘の上にあり、前には空堀があることから、この門が八王子城の正面口であったと考えられています。

古道は戦国時代に御主殿に入る道として使われていました。城主である北条氏照もこの道を歩いたのでしょうか。

## 古道から曳橋へ

今は立派な橋がかかっていますが、戦国時代はもっと幅の狭いすぐに壊せる橋でした。敵が

# 冬季トトロ特集 八王子城跡探求

## 一日日本100名城に数えられる史跡です



「国史跡 八王子城跡パンフレット」よりこの見取り図を転載し、加えて城内でのガイドさんの説明をもとにこの通信を作成しました。八王子市教育委員会文化財課様にご協力をいただきました。

攻めてきたときには引き落として城を守ったそうです。この橋から御主殿に続く石段が八王子城の現在の顔となっています。



## 野面積みの城壁

野面(のづら)積みの城壁の様子も観察できました。自然石を積み重ねているので、統一性はありませんが、強いという特徴があります。そして、この石垣が黒くなっていることにも気づきました。おそらく、落城し

たときの火災で石が焼けて黒くなったのでしょう。



## 御主殿歴史跡

八王子城が「日本100名城」に選ばれた理由の一つが、ここで出土した70,000点にもおよぶ遺物です。歴史的・文化的に価値があると認められたのです。おそらく、この地が幕府の直轄領や国有林であったことで盗掘をまぬがれたのでしょう。

御主殿は城主が政務を行った館だと考えられています。建物の礎石や水路跡、多数の遺物が

出土しました。その中でも特に注目されるのがベネチアで作られたレースガラス器です。日本国内での出土は八王子城のみで大変貴重なものです。



隣接する会所跡は床部分のみが復元されています。客とともに池のある庭園を眺めながら会食を楽しんだのでしょうか。

武家の人々の暮らしをくわしくの資料で解説して下さったガイドの方々、本当にお世話をありがとうございました。有難うございました。

NHK総合「日本最強の城スペシャル—第12弾 意外な城の楽しみ方を徹底伝授！」

令和4年12月30日（金）  
午後7:30～8:42

松江城(島根県)、熊本城(熊本県)、中城城(沖縄県)、と並んで八王子城が紹介されます。